踏み出す力
行動は気づきに変わる

発行者
武岡中学校生徒会本部
ブログはこちら↓

生徒会歓迎会・JRC登録式

「気づき　考え　実行する」生徒会の一員に

武岡中学校は開校当初から青少年赤十字に加盟しており、生徒会本部が1年生を対象に、JRC登録式（青少年赤十字登録式）を行った。

1年生を対象にした「新入生歓迎会」が4月9日に行われました。生徒会本部役員によるクイズ形式の学校紹介や、青少年赤十字の説明の後に、JRC登録式を行いました。JRC登録式では1年生の代表生徒二人が3年生の生徒会本部役員に続けて青少年赤十字の誓いの言葉を唱和しました。二人はそれぞれ「赤十字は戦争がもとになってできたとは知らなかった。」「みんなの前で誓いの言葉を言うことは、とてもいい経験になった。」と話してくれました。

入学して間もなく、中には慣れない学校生活に不安を感じている1年生もいたと思いますが、中学校生活について知ることで、少しでも安心してもらえたらうれしく思います。これからも1・2年生に武岡中学校生徒会の伝統を受け継ぎながら、より良い活動を目指していきたいと思います。

（生徒会副会長）

世界赤十字デー

5月8日は世界赤十字デーです。赤十字はスイスの実業家であるアンリー・デュナンが、今から約百五十年前に起きたイタリア統一戦争で多くの犠牲者が出ているのを目の当たりにし、「傷ついた兵士はもはや兵士ではない、人間である。人間同士としてその尊い生命は救われなければならない。」と考え、救護活動を行ったことが始まりとされています。デュナンは生涯を赤十字設立に捧げ、第一回ノーベル平和賞を受賞しました。デュナンの誕生日である5月8日が世界赤十字デーとされています。世界に広がる赤十字や命の大切さについて考えてみましょう。

（生徒会副会長）

新たな一歩を踏み出す

1年生の皆さんは小学生から中学生に、2年生は新しい後輩ができ中堅学年に、3年生は最高学年にとなり、それぞれ新たな一歩を踏み出しました。昨年度も、修了式等のほとんどの行事が各教室と放送室をテレビでつないだオンライン形式で行われたため、久々に体育館で行われた始業式は、とても新鮮でした。一日も早く日常が戻り、これからも他学年と集まる機会が増えることを願ってやみません。始業式の中では、新しく着任された4名の先生方の紹介や学年の先生方の発表があり、これから一年間、新たな環境の中で、これまで以上に頑張っていこうと、やる気が湧いてきました。

午後に行われた入学式では、真新しい制服を身にまとった84人の新入生が、期待に満ちあふれた表情で学校の校門をくぐり、中学校生活をスタートさせました。2、3年生は、出席はできませんでしたが、在校生を代表して入学式に参加することができました。真剣なまなざしで話を聞く1年生の姿を見て、生徒会や部活動等で一緒に活動していくことが楽しみになりました。

新しい生活様式により、学校生活にも様々な制限がありますが、そんな中でも、できることを模索しながら、武岡中学校での毎日が全校生徒にとって楽しい日々となるように本部役員一同、努力していきます。（生徒会長）

旅立つ姿を見て

3月15日（火）に卒業式が行われました。式への参加は、卒業生と保護者、先生方のみで、卒業証書は代表生徒が授与するなど、感染症対策を講じた卒業式となりましたが、在校生を代表して卒業生の前で贈る言葉を読ませていただきました。先輩方には、これまで様々な場面でお世話になりました。

式の中で一番心に残ったのは、卒業生による合唱です。音楽発表会や文化祭などの学校行事が、感染症対策のために学年ごとで行われ、先輩方の合唱を直接聴く機会が一度もありませんでした。初めて聞いた先輩方の合唱は、中学校生活を一生懸命走り抜けたこと、つらいことがあっても乗り越えてきたことが伝わってきました。先輩方が学校を卒業する寂しさと同時に、これからは私たちが武岡中学校を担っていかなければならないという責任感を感じました。卒業された先輩方のように充実した中学校生活を送りたいと思います。

（生徒会長）

たけおかSDGs

SDGsについて聞いたことはあるけど、意味はよくわからないという人も多いと思います。では、SDGsとは何のことでしょうか。

SDGsは、17の目標と百六十九の具体的な課題からできています。これらの目標は私たちが大人になって働きだす2030年までに達成することを目指しています。SDGsの目標と課題の中には、私たちにとって身近なものがたくさんあります。それらに取り組むために何が問題なのかを知ることはとても大切なことです。世界では新型コロナウイルスだけでなく、たくさんの問題が存在しています。世界には、一日に二百円より少ないお金で暮らす人たちが8億人以上いることを知っていますか。その大半がアフリカ大陸に住む人々です。私たちはそのひとたちのために何ができるでしょうか。貧困で苦しむ人たちがたくさんいる一方で、日本では、まだ食べられる食べ物が一年間に六百万トンも捨てられています。これは、東京ドーム5杯分の量です。私たちはそれらを減らすために何ができるでしょうか。

今月の学習部の活動はSDGsについての知識を身に付け、持続可能な社会を実現するための目標を一人一人に考えてもらうことです。自分にできることから実践していきましょう。

（学習部部長）

Take Action

新学期がスタートして、3週間が経ちました。皆さん、新しい学級には慣れましたか？昨年度は生徒会本部の活動に半年間携わらせてもらい、たくさんの気づきや反省がありました。それらを基に、今年度は、みんなで協力して、更に充実した活動をしていきたいと思います。

3月に、全校生徒を対象として生徒会活動のアンケートを実施しました。その中で、ベルマーク運動に1点でも協力をすることができたと答えた人は、どれぐらいいたと思いますか。答えは全体の46％でした。この数字を皆さんは、どのようにとらえるでしょうか。1月に行った書き損じはがきの回収に比べると、参加している人の割合は、増えていますが、生徒会活動で達成しようとしている目標は、全校生徒で取り組むべき課題です。

次に、ベルマーク運動に協力できたと答えた人の92％は、SDGsに興味が湧くようになったり、人の役に立つことをうれしく思ったりするなど、意識に変化が見られました。このことから分かることは、生徒会活動に全員が取り組むことができれば、一人一人の意識が高まり、生徒全員が今起きている様々な問題に対して自分のことのようにとらえられるようになると思います。

新しい学級組織が決まり、それぞれの専門部活動がいよいよ始まりますが、一人一人が活動に取り組む意識をもち、協力していきましょう。

（生徒会副会長）